

平成21年度第3回機械振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1. 日 時： 平成22年2月5日(金) 午後13時～15時

2. 場 所： 財団法人 JKA 7A会議室

3. 出席者： (委 員) 大山委員長、岡委員、河田委員、古宮委員、野坂委員、山田委員
(本財団) 久能木理事、笹部機械工業振興 G 長、浅倉振興事業 T 長、
小林自転車振興 T 長、多門 S 長、松前 S 長、大島 S 長、
池田公益事業振興 G 長

4. 議 題

- (1)平成22年度機械工業振興補助事業の採択について
- (2)その他

5. 議事要旨

- (1)平成22年度機械工業振興補助事業の査定状況について、事務局からの説明後、意見交換が行われた。主な内容は、以下のとおり。

- 今回の査定は、固定費の削減のみならず、高補助率事業を無くしたところを評価したい。
- そのために、実施予定の有益な事業が実施されなくなることは避けるべきである。
- 繰越金等剰余金が潤沢にある補助事業者に補助金を交付するよりも、本当に困っている事業者に補助すべきである。
- 人件費については、明確な基準がないため削減の方向に向かっているが、そうなると調査研究事業は委託事業中心になってしまう。補助事業者自体にノウハウを蓄積させるためには補助事業者の内部で実施することが重要である。そのためにも人件費の補助について新たに基準を整備する等見直しをして欲しい。
- 補助対象となる一般社団・財団法人の適格性を判断するにあたり、財務諸表等の情報開示 (Web 等)を要件とすることに異論はないが、外部監査の導入を要件とすることについては検討を要する。
- 同一県内の県と市が同時に要望している公設試験研究所に対する機器の整備事業については、財源が限られていることから機器が重複しないよう調整したうえで要望してもらってはどうか。

以上の意見を踏まえ、平成22年度機械工業振興補助事業の採択については事務局の提案どおりとすることで了承された。

(2)その他

事務局より21年度に新設された緊急対応事業について、新たな要望状況(1件)と実施内容について報告を行った後、今後の流れについて説明がなされた。

次回、審査・評価委員会は平成22年度上旬に開催予定。

(本議事要旨は、事務局において作成した。)